

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年07月09日

計画の名称	富士駅周辺地区における機能的で賑わいと憩いのある街の再構築													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	富士市,静岡県													
計画の目標	J R 富士駅北口周辺地区は、本市の賑わいの中心地として発展を続けてきたが、郊外部への商業施設の進出や来街者の減少により大規模商業施設の撤退や空店舗・空スペースが増加している。 また、地区内の建築物は昭和30～40年代に建築され老朽化による適切な維持管理等に問題を抱えている。 そのような中、本市の玄関口としての良好な市街地環境の創出と賑わい交流の活性化を図るため、「富士駅周辺地区市街地再生基本計画」を平成24年に策定し、事業化に向けた取組を推進していくこととした。 以上から、都市機能の更新や商業・憩いの場の整備、まちなか居住環境の整備を市街地再開発事業等により実施し、土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、賑わいと憩いのある街の再構築を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		3,715	A	3,715	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4）	（R6）
1	・富士駅北口地区における店舗数の維持 富士駅周辺地区の新規出店舗数を増加させる 【H19～H30 新規出店数1.58店/年】から、約30%増の2店/年に増加させる	2店	店	2店
2	・富士駅周辺地区における歩行者通行量の増加 休日における富士駅周辺地区の歩行者通行量を増加させる 2,953人【H30】から、1%増の2,982人に増加させる	2953人/日	人/日	2982人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	富士市	直接	富士市	-	-	富士駅北口第一地区再開 発事業化検討	計画コーディネート	富士市	■	■				60		未策定
	A13-002	市街地	一般	富士市	間接	富士駅北口 第一地区市 街地再開発 準備組合	-	-	富士駅北口第一地区第一 種市街地再開発事業	施行区域約1.0ha	富士市			■	■	■	3,237	1.17	未策定
											小計						3,297		
道路事業	A01-003	街路	一般	静岡県	間接	富士駅北口 第一地区市 街地再開発 組合	都道府 県道	改築	（都）富士停車場厚原線	道路改良 L=170m	富士市					■	418		未策定
											小計						418		
											合計						3,715		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体により実施	令和 8 年 6 月
	公表の方法
	富士市ウェブサイトにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市街地再開発事業は未完了であり、再開発による本格的な効果発現には至っていないものの、中心市街地活性化に向けた取組や富士駅周辺でのイベント等の継続実施により、新規出店の増加や歩行者通行量の回復など、にぎわい創出に一定の効果が認められる。今後、再開発事業の完了に伴い、更なる商業機能の集積や中心市街地の活性化が期待される。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

市街地再開発事業については、第2期計画において継続して実施し、令和11年度末の事業完了を目指す。事業完了後は、新たな都市機能の集積や居住人口の増加、商業施設の立地等による中心市街地の活性化効果が期待されることから、引き続き事業を着実に推進するとともに、関係機関や地元関係者と連携し、回遊性の向上や賑わい創出に取り組む。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	富士駅周辺地区の新規出店舗数の増加		
	最 終 目標値	2店	市街地再開発事業が未完了であり、再開発による商業集積効果の発現には至らなかった。一方、中心市街地活性化に向けた取組により新規出店は増加し、指標は基準値の1.58店から1.77店となった。目標値には達しなかったものの一定の効果が認められ、事業完了後の更なる商業機能の集積が期待される。
	最 終 実績値	2店	
2	休日における富士駅周辺地区の歩行者通行量の増加		
	最 終 目標値	2982人/日	長年減少傾向にあった休日歩行者通行量は回復基調に転じており、新型コロナウイルス感染症からの人流回復に加え、富士駅前で実施する各種イベントの継続的な実施などが相まって、目標値を上回る結果となった。
	最 終 実績値	4305人/日	